



大接近中の火星を見よう！
月のある日はスマホで月撮影も！



星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本日午後??時??分から午後??時??分頃まで、本館 3 階屋上において、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

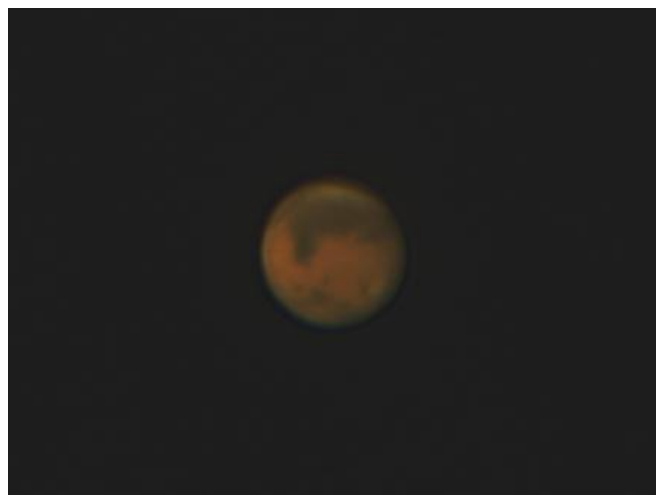
今年の夏は、火星・土星・木星の三大惑星を同時に見ることができる惑星観察の大チャンスで、特に火星は 15 年ぶりの大接近中です。また、天の川の中心がいて座の方向に見られることから、神秘的な星雲・星団も数多く見ることができます。

月が出ている夜は月もご覧いただきますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。上弦（半月）前から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

ご覧いただく予定の天体

火星・土星・木星

この時期は東に火星、南に土星、西に木星が見えています。特に火星は 15 年ぶりの大接近中で、木星をしのぐ明るさで赤く輝いています。また、土星は 15 年周期で環の傾きが変わりますが、去年が最も開く年だったので、今年も大きく開き、環の隙間であるカッシニ空隙も見やすくなっています。木星は複雑な縞模様と 4 つのガリレオ衛星が見えますが、運が良ければ大赤班も見えるかも、三大惑星をぜひご覧ください。



星雲・星団・二重星

星雲には私たちの銀河系と同じく数百億～数千億の星の集まりである系外銀河と、ガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲の 3 種類があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年（1 光年は約 10 兆キロ）から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることはまた別の趣があります。

今回は、無数の星がボール状に集まったヘルクレス座大球状星団や、全天一美しいといわれる二重星アルビレオ、恒星の最後の姿であること座トーナツ星雲 M57、こぎつね座垂鈴状星雲 M27 や散開星団などをご覧いただく予定です。たて座 M11 やいて座 M23 などの散開星団は、暗闇に目を十分慣らしてから見ると、まるで万華鏡のように無数の星が瞬くのが見え、宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。